

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、「住民こそ主人公」のあきる野市政実現をめざして!

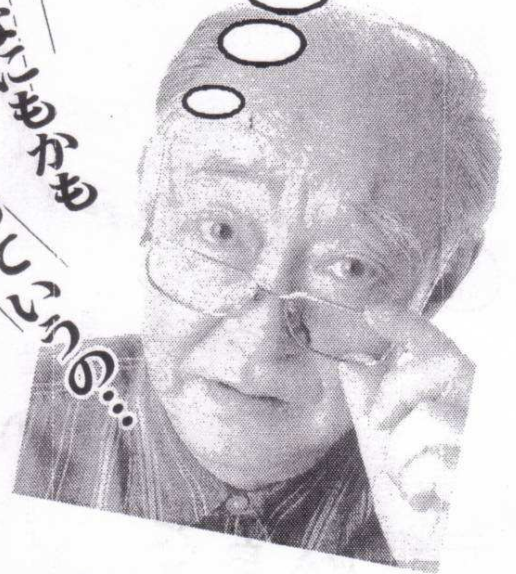
2006.7.30 No.443 (毎月2回発行)

住民税大幅増税に続いて… 国民健康保険税、介護保険料の値上げ

高齢者に連続パンチ

6月に各家庭に市民税の納税通知書が届きました。多くの市民はそれを見てびっくり、特に年金暮らしの家庭は、昨年の2倍、3倍、なかには数倍という額に「なにかの間違いでは」と怒りの声を市役所や、議員のところにぶつけています。

値上げパンチ
二宮にお住まいのKさんから
二宮に住む八〇歳の男性Kさんより、介護保険料の通知が市より届いたが、金額の設定が間違っているのではないかと問い合わせが議員団に寄せられました。この方の負担増は、住民税が一七年度は四九、四〇〇円が一八年度は八三、五〇〇円に、



日本共産党市議員団に相次ぐ相談が
市民から「わずかな年金だけの収入なのに、こんなに何もかも値上げされては生活が出来ない」「何とかならないか」との相談が、日本共産党市議員団に多数寄せられています。市議員団は、市民の声に応えるため、介護保険課や市民税の担当課などに市民から寄せられている声を届けると共に、今後早急に対応策を取るよう市に申し入れていきたいと思っています。

二宮にお住まいのKさんから

二宮在住の八〇歳の男性Kさんより、介護保険料の通知が市より届いたが、金額の設定が間違っているのではないかと問い合わせが議員団に寄せられました。この方の負担増は、住民税が一七年度は四九、四〇〇円が一八年度は八三、五〇〇円に、

通院中の草花のSさんから
草花在住の七〇歳のS



日本共産党あきる野市議員団長 戸沢 弘征

二年前に自民・公明が決めたのが原因
二年前に小泉内閣が老年者控除の廃止、公的年金控除の縮小、定率減税の縮小などを決めたのが原因です。税負担が数倍から十数倍になり、それに連動して介護保険料や国民健康保険料が「雪だるま式」にふくれ上がるという事態がおこっています。日本共産党は国会でも、市議会でも多党派が認める中、一貫して反対を貫きました。今後も高齢者の暮らしを守るために全力をつくします。



いよいよ夏休み。旅行の際の、わが家のイ子ちゃんレシピを紹介します。出掛ける前日までに、移動の手段、食事の予定と、のりもの、駅などでのマナーを話し(誰かに叱られるからではなく、みんなが気持ちよく使うために)具体的な約束をします。

当日は「では到着までよろしく」と頼んで出発。音の出ないおもちゃやお菓子も使って、叱るべきは叱りつつ、なるべく楽しく目的地に着いたら、「とってもお利口でした!すばらしい!ありがとう!」。実際は多少騒いだとしても、過ぎたこと。目をつぶって。あとはだらけ放題、騒ぎ放題。イ子ちゃんは数時間限定なのです。子どもも色々なので合う合わないはありますが、よければお試し下さい。

野良望

たばた あずみ
連絡先は ☎550-6674

さんご夫婦は言います。現在奥さんの国民年金約四万円、ご主人の厚生年金と夫婦二人で約二十二万円の収入です。住民税は今まで奥さんばかりからなかったのに三〇〇円課税されることになった。国民健康保険税は七四、〇〇〇円が八三、〇〇〇円に引き上げになり、介護保険料も妻三三、六〇〇円から五〇、四〇〇円に引き上げになりました。奥さんは循環器の病気が多く、奥さんも病気で治療中です。もうもろの値上げで病院への治療費が大変です。病院へ行く足もないため、行きは「るのバス」を利用して行きますが帰りはタクシー一代が大変なので路線バスで福生まで行き、福生からバスで帰ってくるということです。市役所の福祉の窓口相談に行ったが、二人の収入があるとのことなんでなんと出来ないといわれたとのこと。何とか補助制度はないものかとの相談です。

沖繩という第二次世界大戦で壊滅した島と思われがちですが、八重山諸島の南島、即ち日本で最も南にある波照間島は戦争の被害を免れた島です。島自体がサンゴ礁の上に成り立ち、砂で覆われ雑草が茂った島ですから、穀物も野菜も育成せず、唯一サトウキビだけが栽培されています。私達から見ると文明から遠ざかり何も無い島ですが、自然とはこうした場所と定義できるような恵まれた環境です。満天の星に手が届きそうな夜空は、総てが澄んで自然の有様を考えさせられます。これも戦争に遭わず生き残ってきたからでしょう。◆「愛国心」の定義が取り沙汰されていますが、定義など有る筈ありません。故郷の緑豊かな風土を愛し、家族や友人、隣人を愛する気持は誰でも持ち合わせていますし、故郷を遠く持つ人にとっては強い郷愁があります。それも「愛国心」と云えるし、一人一人の観念の違いがあります。心の中に踏みこんで「国家」という体制を愛せなごとはもつての他と云わざるを得ません。(木崎)

「憲法9条で」子どもたちに平和を手渡そう！
被爆61年、いまこそ核兵器廃絶を！

今年も元気に

原水爆禁止国民平和大行進



2006年原水爆禁止国民平和大行進（北海道～東京コース）は7月21日五市に、22日は日の出町役場を出発、あきる野市役所から福生公園までを元気に行進しました。

あきる野市役所前で午前
一〇時四五分、瀬沼辰正あ
きる野原水協代表が挨拶し、
福生公園にむけて元気に行
進を開始しました。

あきる野コースに 四十六人が参加

「旗」プラカードを持って

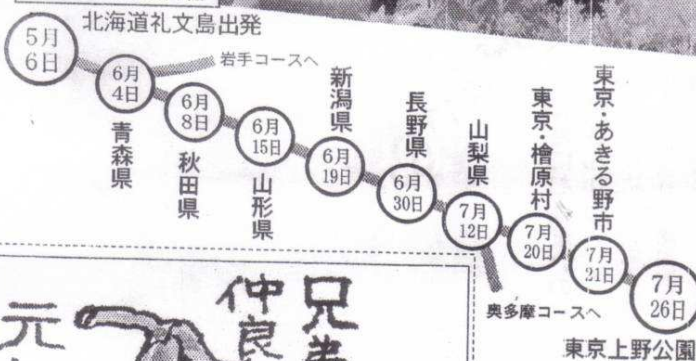


参加者はそれぞれ旗やプラカードを持ち、ねり歩きしました。中でもあきる野九条の会「新婦人あきる野支部」の旗や手作りのプラカードが目玉をひきました。当日は曇天だったので歩きやすかったです。約一時間歩いて二宮の「お池」で休憩した時はみなホッとしていました。

「お池」では新婦人の人達から、冷水や茶菓のサービスを受け元気回復。一二時四〇分に福生公園に到着。青梅、羽村、福生のコースの行進者と合流、集会を開きました。

集会では「米軍再編」に基づく日米ミサイル共同指揮所設置、並びに横田基地強化、恒久化に反対する決議を採択、在日米軍司令官に送付を決めました。
あきる野市の行進参加者は、来年の参加も決意し合い、帰途につきました。

このコースの日程



絵手紙/瀬川和子さん・牛沼在住

歴史探訪 第23回 再掘—草花・中高瀬遺跡 (3)

私のような専門外の人にとって、土偶と古墳時代の埴輪と間違いやすいのですが、土偶は縄文時代の遺跡から出土する素焼の女性像を云います。縄文前期では胴体だけの物が多い中で、中期では脚部が付き完全な立体的形態として造られたものが、関東とその周辺で出土しています。後期・晩期(弥生期に近い頃)では西日本へも広がり、全国規模で造られていたようです。

土偶は女性から子供が生まれるという神秘的な創造力が神像となつて造られ、食料の豊作、疾病の退散など宗教的な用途として発展していったと思われれます。土器と違い土偶を完全な形で見る機会はありませんが、私が見た数少ない中では尖石縄文考古館(長野県)の「縄文のビーナス」は圧巻を極めていると云つてよいと思いますので、機会がありましたら立寄つてみて下さい。

道路事業に伴う今回の発掘で、不完全ながら土偶も発掘されています。他にも石器・住居跡・土坑・古墳などの発掘もあり調査が進められています。塩野半十郎氏は「草花前遺跡は謎の遺跡」と呼び、考古学を勉強する学生達に、まず草花前遺跡を学ぶことを奨めました。今回のこれらの調査によって、あきる野に住んだ私達の祖先の暮らしが分かるのと同時に、市の古代の歴史に新たな解明が加わるかもしれません。



みみずく形土偶

草花・木崎秀 (終り)



果てしなく続く海かと青田見る
山躰踏ハモニカ響くバスの旅
一番に見つけし壺声あぐる

福の手とくらべられたる我が田植
しばし皆乙女心や富浦園
新緑に小鳥の声や出棺し
ティタイム水陽炎のくるべしチ
ちらろの絵表兼帽の子の眼

(やすこ)
(富子)
(かほる)
(香浩)
(静子)
(勝代)
(照代)